

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こころ		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備が充実されている	<ul style="list-style-type: none"> 支援スペースが広く確保され、個室が複数ある。 個々の心身状態に合わせ個室を活用し、クールダウン、学習、ゆっくり寝転がるなど心身の安定に取り組んでいる。 職員を多く配置するようにし、全ての児童に目が行き届きやすいようにしている。個別対応ができるよう、定員10名に対し、毎日7名以上の職員を配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 個室の充実化を進めている。スヌーズレン、室内運動部屋を準備中。 より効果的な支援が提供できるよう、定期的な施設内研修、外部研修の参加など、全体的な職員の質の向上に取り組む。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域、関係機関との連携、関わりが薄い。	<ul style="list-style-type: none"> 近隣学校の児童や、近隣地域住民との関わりが持てていない、持ちにくい。(時間制限、土日祝が休業日など) サービス担当者会議の開催頻度が減ったため、関連機関との交流がなくなった。学校とは日頃から連携が取りやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校休業日を利用し放課後キッズとの交流や地域の活動参加を検討してく。 関係機関への情報共有、収集する内容を明確にし積極的に関わりを増やす。
2			
3			